

『霊的に健全な教会』おはようございます、日曜日の朝の第二礼拝へようこそ。聖書の一節一節を学んでいます。今日はテモテへの手紙第一、5章です。御心であれば、今日で第5章を終わりたいと思います。みことば箇所は、17節から25節です。その箇所をお開き下さい。皆さんにお知らせしたい事があります。私たちは現在、新しいウェブサイト “jdfarag.org” を立ち上げているところです。オンラインでご参加の方、このビデオの説明欄に、そのサイトへのリンクがあるはずですよ。あなたのメールアドレスを入力して、登録していただければ、サイトが立ち上がったら、通知が届き始めるようになります。このサイトは預言アップデートだけでなく、学び用にも、定番のサイトになり、願わくは主の御心ならば、より対話的なサイトになることを願っています。URLは、”jdfarag.org” です。是非、ご登録をお勧めします。それでは御言葉に入りましょう。

テモテへの手紙 第一 5章 17節です。先週は16節で終わりました。ここに居られる方はお立ち下さい。読みますので目で追って下さい。ご無理な方は座ったままでも結構です。使徒パウロはテモテに手紙を書いています。これは非常に興味深い聖書箇所です。皆さんもまもなく そう思われるだろうと思います。

#### テモテへの手紙 第一 5章

17 よく指導している長老は、二倍の尊敬を受けるにふさわしいとしなさい。みことばと教えのために 労苦している長老は特にそうです。

18 聖書に『脱穀をしている牛に口籠をはめてはならない』、また『働く者が報酬を受けるのは当然である』と言われているからです。

19 長老に対する訴えは、二人か三人の証人がいなければ、受理してはいけません。

20 しかし、罪を犯している者を すべての人前で責めなさい。そうすれば、ほかの人たちも 恐れを抱くでしょう。

21 私は、神とキリスト・イエスと 選ばれた御使いたちの前で、あなたに厳かに命じます。これらのことを先入観なしに守り、何事もえこひいきせずに行いなさい。

22 だれにも性急に 按手をしてはいけません。また、ほかの人の罪に 加担してはいけません。自分を清く保ちなさい。

23 これからは水ばかり飲まないで、胃のために、また、たびたび起こる病気のために、少量のぶどう酒を用いなさい。

24 ある人たちの罪は、さばきを受ける前から明らかですが、ほかの人たちの罪は後で明らかになります。

25 同じように、良い行いも明らかですが、そうでない場合でも、隠れたままでいることはありません。

またしても、そのままで かなり明白ですね。これ以上説明する必要はないと思います。祈りましょう。そんなに簡単には 終わらせてもらえませんよね？ 主よ、感謝します。天の愛なるお父様、あなたの御言葉に感謝します。今日、私たちの前にある この御言葉に感謝します。しかし主よ、私たちはいつもながら、私たちの心が迷いがちで、気が散りがちであることを はっきりと意識しています。それで、あなたが私たちにお示しになりたい事、御言葉によってお示しになりたい事を見落としがちであることを。そうはなりたくありません。御霊の助けによって、私たちが注意を保ち、維持し続けられるよう、お導きください。今日のこの御言葉の箇所で、御言葉による 私たちの生活への語りかけを、聞くことができますように。主よ、ありがとうございます。主よ、お語りください。しもべは聞いています。イエス様の御名においてお願いします。アーメン、アーメン。ご着席ください。ありがとうございます。さて今日は、教会が霊的に健全で、神の民が礼拝や交わりをするのに、安全な教会となるための特徴について、お話ししたいと思います。今日の聖書箇所の中で、使徒パウロは、若い牧師テモテに 具体的な指示を与えています。エペソでのことです。テモテは本当に、使徒パウロの命令に従っている、とい

うことを理解するのが重要です。パウロの最初の手紙の早い段階で、彼はそこに留まるように言ったのです。テモテは、そこに残りたくありませんでした。テモテは、かなり深刻な問題をたくさん抱えていました。エペソの教会には大きな問題がありました。テモテについて真実だと判明している事は、まもなくここで分かりますが、彼は恥ずかしがり屋で、内気で、臆病でした。だからこそ、パウロは後に彼に手紙を書いて、「そんな風になってはいけない」と言うのです。神は、私たちに臆病の霊、あるいは恐れを授けられたのではなく、愛と力と思慮分別の霊を 与えてくださいました。この若い牧師は、エペソの教会で大きな問題を抱えています。パウロは彼を励まし、助け、指導しようとしています。そうする上で、彼は霊的に健全な教会の 最も重要な特徴の三つだと私が 思うものを述べていきます。最初のもは、…我慢して下さいね。これが、都合よく 聞こえるのは承知しています。17 節と 18 節です。これに少し時間をかけましょうね。牧師は尊敬を受けます。パウロはここで、テモテに対し、長老や牧師、特に神の言葉を教え、説教するために 働く人たちについて指示しています。そして、彼はテモテに言っています。彼らは報酬を受けて当然だ、と興味深いことに、彼らは「二重の尊敬 (honor)」を受けるに値する、と。この「honor(尊敬)」という言葉には「価値」とか「価格」といった概念が含まれていることを覚えておいて下さい。英語の“honorarium”(謝礼金)という 単語はそこから派生しています。ここでは給料の話をしています。報酬の話です。パウロが言っているのは、特に牧師や教師として神の言葉のために働いている人たちは、報酬を受けるにふさわしいだけでなく、二倍の報酬を受けるにふさわしい と言っています。これについてちょっとお話ししましょう.... (笑)冗談です、いや、ホントに冗談です。皆さんをご存知だと良いのですが、もしそうでなければ、特に新しい方々、お知りおきください。この教会の役員会は、長年にわたって 私に、とても良くしてくれています。私はとても良くしてもらってます。ですから、これは私にとっては 問題ではありません。悲しいことですが、これは問題なのです。実際に、今日の多くの教会で大きな問題であり、対処されねばなりません。それは教会の牧師から始まるのです。問題はここです。あなたは教会として、その牧師、その教師に、神の言葉について永遠に信頼します。彼を一時的に経済的な面で、信頼できないのは何故ですか？ 繰り返しますが、それは大きな問題です。パウロが旧約聖書の申命記を引用しているのは 興味深いことだと思います。それだけではなく、パウロはまた 救い主自身も引用しています。申命記の引用から始めましょう。25 章 4 節です。「脱穀をしている牛に口籠をはめてはならない。」と記されています。お聞きください。これはなかなか面白い描写で、素晴らしい例証です。彼らはこういう事をしていたんです。なお、これは本当に残酷な事です。あの時代のあの文化で、脱穀をしている牛がいます。あなたはその牛に、脱穀している穀物を 食べられたくありません。それで、どうしますか？ 食べられないように、牛に口籠をはめるんです。神が、ここ申命記で言ってるのは、「そんな事をしてはいけない」ということです。牛に口籠をつけるな。牛は、自分が脱穀している穀物を 食べるにふさわしい、と。それは同じ原理です。牧師、神の言葉の教えと説教に 勤しむ者は、その評価された価値にふさわしく、その報酬を得るべきです。マタイの福音書 10 章 9-10 節で、パウロは救い主を引用しています。イエスの言葉に耳を傾けてください。イエスが弟子たちを送り出している時です。(9 節)「胴巻に金貨も銀貨も銅貨も 入れて行ってはいけません。」「袋も二枚目の下着も履き物も杖も持たずに、旅に出なさい。」おやおや、これで全部網羅されますね。何を持って行けるのか？ 何も！なぜ？「働く者が食べ物を得るのは当然だからです。」— 10 節— そして、彼らは自分たちが仕えるものから 受け取るべきなのです。レビ人のことを考えます。彼らは、他の部族のように 土地を与えられませんでした。どうしてかと言えば、彼らは幕屋で、その後、神殿で 祭司として奉仕したからです。レビ人の分け前は、幕屋に、また最終的には 神殿に捧げられた捧げ物や十分の一からでしたということで、ここで、案内係に来てもらって、みなさんから... (笑)私の未遂に終わったユーモアをお許しください。オンラインでご参加の方でご存知ない方に 知っていただきたいと思います。ここでは、献金の時間も設けていません。奥の壁に、二つの箱があります。献金を徴収したことはありません。それが悪いというわけではありません。徴収する教会もあります。でも教会を始めた当初から、それはしないと、心に強く感じていました。献金の時

間は設けない、と。繰り返しますが、それは悪い事ではありません。しかし、私たちはとにかく神を信頼しよう、と。なんと感謝な事でしょう！ 神は常に忠実で、私たちが考えることも 想像することも出来ないくらい、非常に豊かに与えて下さいました。これも私たちが決して お金を求めない理由の一つです。私たちのラジオ放送やテレビ放送の終わりや、そしてオンラインでも、絶対に 広告が表示されることはありません。あ、それをちょっと限定しないとイケません。私の娘に歌わせて、YouTube にアップした時、この人たちにもイエスが必要なんです、著作権侵害申請をして動画を 収益化する人たちがいます。それ以外では、絶対に広告が 表示されることはなく、私たちが収益化したり、 寄付金を求めることもありません。先に進む前に、この事についてもう一つ。ただ、私は、金をせびる人の話を聞くと 恥ずかしくて身がすくみます。「この放送が続くことを望むならば。。。」「ご寄付願います。」それに対して私は、こう言います。 待って！ あなたが放送を続けられるかは、私の経済的支援次第ってこと？ 神は破産したのか？ 財政破綻や金融危機、景気の悪化、それが神に影響したのですか？ もし、そういう事なら、あなたは 放送するべきじゃないのかもしれないかもしれませんね？ きつい言い方ですが、きつく言う必要があります。さて、最後に一つと言いましたが、..... この件について、最後の最後。いいですか？ それから、本当に次に進みます。早く進んでくださいと言っている人もいますが、進みますよ。私が最初に教会を始めたとき、私は思いました。教会と牧師側の、悪用のせいで…教会に行くと、最初の15分は 献金についての話しです。牧師が十一献金について 10週間のシリーズ説教を行うことが断じてありませんように！ 私たちがお金の話をするのは、聖書の中でお金の話が出てくる場所だけです。今みたいに。だから今、実はそれを利用しています。しかしそれは、クリスチャンでない人を うんざりさせてしまう、第一の理由ではないでしょうか？ あなたはご近所の人や友人を 教会に招待します。彼を教会に連れてきて... あなたは椅子の下に潜り込みたくになります。あー、なんてことだ、牧師はお金の話をしている... あなたが連れてきた友人は、 出口を探しています。彼らを責めることは出来ません。仕方ありません。牧師や教会がただお金の事にしてしまうのは、イエス・キリストの福音に対する 痛烈な恥辱だと思います。これが最後の最後の最後です。私にとっては興味深いことです。実際には皮肉なことです、あなたが神が養って下さることを信頼すれば、神は与えて下さるのです。しかし、あなたが自分の手で問題を解決し、神を助けようとする、私は時々思うのですが、神は、言ってみれば、一歩退いて、聖霊がこう言うのではないかと。「申し訳ないけど、わたしが遣わされたのは そのためではない。」わたしは、イエス・キリストの名を高め、褒め称えるために遣わされたのです。この御名のほかに、私たちが救われるべき 名としては、どのような名も、人間に 与えられていません。(使徒 4:12 参照) はい、以上です。問題ないですか？ もう帰りたいですか？ 次のはそんなに悪くないですよ。二番目です。いや、そうではないかも。場合によります。非難が正当であると証明されます。これは、やっかいな問題です。教会内で、最も破壊的とまで言わなくとも、最も破壊的な力の一つは何かと問われれば、答えはこれでしょう。すなわち、指導者や長老、そして牧師に対する 非難が正当であることを証明するのは対照的に、その非難を受け入れることです。私は何年にもわたって、おもに米国本土で、このことが人生を破壊し、教会を破壊し、結婚を破壊し、家族を破壊するのを見てきました。虚偽の非難、噂。それは、非常に狡猾なのです。理由があるのでそう言っています。サタンはとても利口ですから。彼はすごく狡猾で陰湿なんです。地獄(ハデス)の門も、外側では 教会に勝つことはできません。(マタイ 16:18 参照)では、サタンはどうするのか？ 作戦を変え、内側から攻めてきます。そうやってです。なぜなら、サタンの唯一の目的は...。彼はイエス・キリストの教会を 憎んでいるからです。イエス・キリストの教会として あなたが代表するもののために、あなたのことも憎んでいるからです。サタンは、兄弟たちの告発者であり、偽りの父ではありませんか？ 彼が話すとき、彼は自分にふさわしい 話し方をしているのです。嘘や噂や言いがかりを。それが受け入れられると、絶対的にミニストリーを破壊する 傾向があるのです。これは深刻です。皆さんはパウロがテモテに具体的な指示まで 与えていることに気付くでしょう。牧師として、これらの非難に どのように対処するかについて。二人以上の証人の立会いのもとで 立証させるのです。それは証明されねばならないし、検

証されねばなりません。それが本当かどうか、吟味されなければなりません。なぜなら、こんな趣旨の事さえ 言えばいいからです。「聞いた？」 ああ、いつもこの言葉から始まります。 そうですね？ 箴言にもあるように、それは私たちの腹には美味しいものです。（箴言 26:22 参照） ああ、美味しいような食べ物。「何？」-おや、聞いてないの？「聞いてないよ！何だよ？」 ああ、これは面白くてうまみがあるよ！「彼の結婚は上手く行ってないんだ。」 「ええっ。彼が？「そうなんだ。」それで、私たちはどうするでしょう？ 私たちは彼らのために祈る代わりに、彼らの噂話をします。恥ずかしいことです。私たちの肉にある、生まれつきの罪の性質。パウロは、「私は...私の肉のうちに 善が住んでいないのを知っています」と言っています。（ローマ 7:18）私は腐っており、不道德で、徹底的に邪悪だ。エレミヤは、あなたは自分の心も 知ることができないと言っています。

### 人の心は何よりも陰険で、それは直らない。（エレミヤ 17:9）

望みはなく、直すことは出来ない。希望はありません。新しい心が必要です。マタイの福音書 18 章 15 節から 17 節。次のように前置きさせてください。これらの節は、おそらく聖書の中で 最も従われていない聖句の一つでしょう。聖書全体を通して、聞き入れられず、順守されていない節を 正確に特定したいと思えば、これはそのリストのトップに来るでしょう。これはイエスのお言葉です。聞いてください。もしあなたの兄弟、あるいは姉妹が 罪を犯したなら、行ってソーシャルメディアに 何か投稿しなさい。いや、そんなことは書いてません。なんでそんな目で見てるのですか？ 誰かに電話をかけなさい。「ねえ、聞いた？」 違います。「行って二人だけのところで 指摘しなさい。」先に進む前に、考えてみたい事があります。今度、誰かが来て、あなたに次のように言ったら、「誰々の話を聞いた？」あなたは、愛をもって彼らに こう質問する必要があります。無礼になる必要も 意地悪になる必要もありません。愛情を持ってやってください。その人に尋ねてください。その人物のところに行って、1対1で話をしたかどうか。もし彼らがそうしてなければ、こう言うのです。「止めましょう。」「止めて。」耳を塞いで、出来るだけ早く、出来るだけ遠くに 逃げてください。彼らの言うことに 耳を傾けてはいけません。彼らは、噂をし、非難している その人のところに行ってはいないし、おそらくその話は間違っているからです。だから、あなたは行って、二人だけのところで 彼らの過ちを指摘するのです。「その人があなたの言うことを聞き入れるなら、あなたは自分の兄弟を得たことになります。」主をほめたたえましょう！ ああ.....そんな簡単な事ならいいのに... 普通はそうじゃないんですよね。16 節は、第一段階が失敗に終わった場合の 第二段階です。イエスは言われます。

### マタイの福音書 18 章

**16 もし聞き入れないなら、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。二人または三人の証人の証言によって、すべてのことが立証されるようにするためです。**

それでもなお 彼らが聞き入れないなら、第三段階で、これはパウロがテモテに 行なうよう命じていることです。それを、公に行ないなさい。それが確証され、正当だと証明され、その非難が真実であり、あなたがこの聖書的な方法で それに臨んできて、これらの条件が満たされていて、それでも聞き入れないなら、

**17 それでもなお、言うことを聞き入れないなら、教会に伝えなさい。教会の言うことさえも 聞き入れないなら、彼を取税人（国税庁(IRS)の職員）のように扱いなさい**

いや、そう言ってるんです。私は少し現代風にしたんです。当時は国税庁はありませんでしたから。しかし、イエスは異教徒と言ってます。「異教徒？」 そうです。または取税人。同じことかもしれません。さあ、どうでしょうね。うわあ..... 愛はどこにあるのですか？ ああ、尋ねてくれて嬉しいです。あなたはそれが愛だと思うのですか？ 彼らに立ち向かわないこと、それが愛だと思いませんか？ あなたはカルバリーチャペル・コリントに 通ってるみたいですね。利口ぶってるわけではありません。それがパウロがコリントの人々に 書いたことです。おー、私たちはそれを好んで... あ〜、「愛の章」私たちは、それを引用したり、暗唱したり、読んだり、暗記したりします。確かに、結婚式では。愛は寛容であり、愛は優しく、愛は...そのリストを順に見て行きます。皆さんはどこまで行けるか分かりま

せんが、ある人が提案したのは、そこに自分の名前を入れてみるんです。JDは寛容。ブーっ！ 私はそこでアウトです。1つ目、しょっぱなから。コリント人への手紙第一に、その有名な「愛の章」があるのはなぜだか知ってますか？ それは、コリント教会が自分たちを、愛に富んだ者だと思っていたからです。とても懐が深くて、よく大目に見て...ねえ、見て。ねえ..... 私たちは誰にも立ち向かいませんよ。ただあなたに来て欲しいんです。さあ、主をほめたたえましょう。私たちはあなたを裁きませんよ。それは愛ではありません。実際それは、愛の正反対なのです。あなたに立ち向かう気がないのであれば、あなたは彼らのことを全く愛していないに違いない。よく聞いてください。かなり生々しいです。単刀直入に言うのをお許しください。しかし、それは教会で起こっていたんです。この種の愛という名目の下で、それは実際は自己愛なのですが、継母と関係していた男を 彼らは受け入れ、容認していました。これはどうでしょう？ はい。しかも、それを自慢している。私たちを見て！ 私たちは愛に溢れています。愛に満ちた教会です。いや、違います。パウロが何と言うか、知っていますか？ あなたはそれが愛だと思うんですか？ まず第一に、それは愛ではない。本当にこの人を愛しているなら、あなたはどうかと言うと、教会から追い出すのです。異教徒や取税人のように、彼との関係を絶つのです。さらに悪くなります。彼の肉が滅ぼされるために、サタンに引き渡すのだ、と。うわぁ.....残酷だな。それは違います。なぜなら、彼は正気を取り戻すから。彼を引き渡さない。追い出しなさい。まず第一に、教会を守らねばなりません。そのような事は広がりがちだから。癌のように...その教会にいる人たちは見てこう思っています。「それはいい事に違いない。」彼らはそれを問題視してないに違いない。だから、私がそんな事しても構わないだろう。パウロは、その人間を追い出しなさい、と言っています。そして公に行かないなさい。彼がテモテに言うように、あなたはこれを公に処理する必要があります。他の人にも分かるように。それが愛です。本当にこの人を愛しているなら、ならば、彼を教会から出し、サタンに彼の事を思い通りにさせなさい。彼は正気になれば 悔い改めるでしょう。で、どうなったか？ うまくいったんですよ。コリント人への手紙第二... このコリント人たちは愛さずにいられません。彼らをあんまり責めないでくださいね。私たちもたぶん、彼らと違わないと思います。で、こうなりました。その男は悔い改めて、復帰を望んでいました。彼は教会に戻ろうとします。彼は駐車場に車を停めます。そのコリント教会の駐車場係と警備員が、「おい、何をしているんだ？お前はここから 追い出されただろう。」

彼は、「私は悔い改めました。」と言ったが、「いや、そう簡単には行かない！」そこで、パウロは手紙を書いて、言わねばなりませんでした。「お前たちは何をしているんだ。」「彼を復帰させて、赦してあげなさい。」「彼は悔い改めたのです!」「いったいどういう事か？」彼らは正反対の行動をとります。その人に立ち向かわないところから、復帰させないところまで。一体何なんだ!？ それは健全な教会ではありません。不健全な教会ですね。それで、あの有名な愛の章が出来たわけです。パウロは基本的にこう言っています。それは愛ではない。愛とはこういうものです。愛はこう、こう、こう、こういうもの。それが愛です。それは愛ではない。この教会には人々が集まります。私たち、この教会の牧師となる特権を与ええた私、また、この教会の役員たちは、このようなことが起こった時に、聖書的なアプローチをするために、どんな苦勞も 惜しまないで来ました。そして、そういう事は実際に起こります。でも、私たちはそれに対処せねばなりません。愛のある、聖書的なやり方で。それはこれが理由です。次に三番目です。残りの時間をこれに費やしたいと思いますが、その理由が明らかだと見なされるといいです。なぜなら、非難と同じように、非常に重要なことだからです。そして、これは批判と関係があるものです。「批判は無視される」23節から25節までを見ると、次のような印象を受けるかもしれません。これはキリスト教徒が、また間違いなく牧師が少量のワインを飲むことについてだ、と。パウロがここで言っていることは、テモテがワインを少し飲んだことで批判を受ける側になってしまったことと関係があるのではないかと思います。なぜ私がそう思うのか、その理由を説明します。冒頭でお話したように、テモテは臆病です。人からどう思われているかを、気にしすぎています。私が想像するに、彼には自信がありません。そして確かに、あなたが若い場合には...

皆さんが理解せねばならないのは、その教会にいた人たちは、テモテの父親であってもいい、年上だったということです。それはもっと事を厄介にします。彼は牧師なのです。だからこそ、パウロは彼らにそんな事をさせてはいけないと言っているのです。若さのゆえに見下されてはならない。この人達は年上です。彼らは、「お前が牧師なのか?」「若くてこしゃくな青二才、こっちに来て!」「一つ二つ教えてやろう。」そんな事をさせてはいけない。だから、私は、テモテはとても繊細だったのだろうと想像しています。彼はとっても気持ちが優しくて、本当に気にかけていたのだと思います。もしかしたら、過剰に?で、私はこう考えています。彼には多分、潰瘍があったのでしょうか。一緒に考えてみて下さい。パウロが言ってます。胃のために、ワインを少しだけ飲みなさい。胃の調子が悪いと、潰瘍になります。受けている様々な批判を気に掛けるあまり、ひどく当惑しているから。彼は批判され、怖気づいていたことがわかっています。彼らに脅させてはいけない。そんな事をさせてはいけません。神はあなたに力と愛と思慮分別の霊、慎みの霊を与えてくださいました。ところで、私は翻訳がもっと正確であったらよいのと思います。思慮分別(慎み)と書いてあるところでは、原語では、「鍛錬された思考」という概念があります。聞いて下さい。子供を訓練するのと同じように、思考を訓練するのです。訓練された思考を持つのです。あなたの思考という戦場、その肥沃な土地に、物事が定着して、植え付け、発芽し、芽を出すのを防ぐのです。サタンは、あなたの思考に思いを入れることができるし、実際にそうします。彼にはあなたの考えは読めませんが、心に思いを入れることができます。だからこそ私たちは、すべての思いをとりこにして、イエス・キリストに服従させねばならないのです。(2コリント 10:5 参照) これは、第二テモテにも書かれています。

このことは以前話しましたが、ここで少なくとも言及しておくのが適切かもしれません。サタンはクリスチャンに霊的に憑りつくことはできません。しかし、サタンはクリスチャンを捕らえて利用することができます。神の霊によって新生したクリスチャンを。サタンはクリスチャンを利用して、自分の指示通りにさせることができます。クリスチャンをとりこにすれば。それは、第二テモテで見て行きます。だからこそ、兄弟間で不和を広めるために悪魔に利用されるクリスチャンが出てくるわけです。そしてそれは、大抵、批判的な霊を持っている人からのものです。彼らは何でもかんでも批判するんです。そして、パウロがここでテモテに言っているのは、彼らの言うことに耳を貸すな、と。

子供の頃、父はいつもそう言っていました。と言うのも、私はいつも憤慨して帰宅していたからです。みんなに「カエル」と呼ばれていたからです。カエル、オタマジャクシ、ゲロゲロ。カーミットとも。名字のせいで。「パパ、苗字変えられないの?僕、十字架につけられてるみたいだよ。」父は、「ダメだ、手遅れだ」と。ファラージみたいに発音できないかな?その方がずっと響きが良くて、カエル(フログ)みたいに聞こえない。父は、ダメだ、と。それがお前の名前だ。なんで僕の名前なんだよ〜そして父は「犬に吠えさせておけ」と言うんです。それが犬のすることです。犬は吠えます。クリスチャンは批判します。それを苦にせず、無視しなさい。放っておきなさい!テモテの問題は、彼がそれを真剣に受け止めていたことです。それは彼をメタメタにしていました。それは身体的に問題を引き起こしていました。これは面白いことです。なぜなら、その根底にあるのは、神がどう思うかよりも、人がどう思うかをもっと気にすることだからです。パウロであれば、こう言うでしょう。「八方美人になるな。」まず第一に、それは上手く行ってるのか?人を喜ばせることはできない。神に喜ばれる者となりなさい。”父と子とロバの話”を知ってますか?また紹介してもよいですか?やりますよ。ある父親と息子が、物資を買いに町まで出かけます。息子はロバに乗り、父親はその横を歩いていきます。町に到着すると、町の人たちが言います。「あれを見て。」「恥知らずの若者!」「若くて体力もあるのに、父親を歩かせている。」「父親は衰えているし、年寄りだ」「恥を知れ」親子はこの批判を聞いて、父親が言います。「次回は私がロバに乗るから、お前は歩きなさい。」「いいよ、わかった」次回、町に行くとき、父はロバに乗って、息子はその隣を歩いています。案の定、批判の声が上がってきます。「あの人使いの荒い親父を見てみろよ。」「息子に歩かせて、自分はロバに乗っている。恥を知れ!」父親は、冗談だろ、と思います。よし、どうすればいいか、分かった。次回、町に行く時は、二

人とも、ロバに乗って行く。これで問題無い。いや、ところがどっこい..... 今にわかりますよ。そこで彼らは町に行き、二人ともロバに乗っています。町に乗り込むと、案の定、批判が殺到してきます。「かわいそうなロバ！二人もロバに乗っている。」「ロバの背中が折れてしまう！」「恥を知れ！」父親はこんな感じで... 「マジかよ！」よし、どうすればいいか分かったぞ。今度町に行くときは、二人ともロバには乗らない。いいですよ。ロバを連れて、二人とも歩いて行きます。どちらもロバには乗ってません。二人は町に到着した。案の定、批判がきます。「アホな愚かどもを見てみろよ。」「ロバを連れていのに、ロバに乗ってない！」人を喜ばせるために生きているなら、それは人間を恐れているのであり、それは畏です。あえて言うならば、...ここで私はテモテを非難するつもりはありませんし、この若い牧師を厳しく叱責するつもりもありません。しかし、あえて言うならば、彼の中には人間に対する恐れが少しあったのだと思います。これは箴言 29 章 25 節です。

### 箴言 29 章 25 節

**人を恐れると畏にかかる。しかし主に信頼する者は高い所にかくまれる。**

こんな風に言われるのを聞いたことがあります。「気にすべきは一人だけ。」どうかご理解ください。私は自分が「どんなことにもイライラしない」というところに到達したという印象を与えたくはありません。ソーシャルメディアで、失礼なコメントとか 下品なコメントとがありますよね？ 棒や石なら骨が折れるかもしれないが、言葉なら痛くない。冗談ですか？ いや、本当はこんな感じです。棒や石なら骨が折れるかもしれないが、言葉は徹底的に私を潰す。違う？ そうですよ。聖職につきたいのなら、特に、子供の心、学者の思考力、そして犀の厚い皮が必要だと言われています。それがまさに、パウロがここでテモテに言っていることです。私はこれについて主に尋ねました。これを共有したいと思います。こんな風に言っても良いなら、私はあからさまに言おうと思います。たぶん良くない言い方ですね。もっといい言い方があればいいのですが。私は、ネットで見ている牧師さんたちがいるのを知っています。私は、教会に通っている方、教会で牧師をしている方に話したいと思います。お許しただけならば、本当に皆さんを励ましたいのですが、しかし、強く忠告したいとも思います。教会に通う方々の話をしましょう。もしあなたが、批判的な霊に支配されているなら、私は愛をもってこう言いたいのです。あなたは悔い改める必要があります。悔い改めねばなりません。

特に、今、世の中で起きている事を考えると。あなたの牧師は...まず第一に、もし牧師が教会を再開しているならば...あなたはすぐ傍で彼をサポートし、彼のために祈り、励ましているべきです。彼を批判するのではなく、実際に私には牧師からアドバイスや助言を求めるメールが送られてくることもあります。教会の人々にどう取り合うかについて。教会を開いたとあって、彼らは牧師を激しく非難しているのです。それから、牧師がマスクを着けることに関して、「あなたがマスクを着けたくても、着けたくなくても、主を讃えます。」と言うならば、それは、「荒らす憎むべき者」みたいで、あなたは彼が、許されない罪を犯したと思うことでしょう。彼は聖霊を冒瀆していると。私は今ここで、このような事をたとえや例示として言っているのだったら 良いのに、と思います。しかし、これは実際に起きているのです。東海岸の牧師から聞いたある統計では牧師たちは、まさにこのために、大勢、聖職から離れていっています。彼らはそれに対処できないのです。教会の人たちは、互いに滅ぼし合っています。互いに むさぼり合って。これが、パウロがガラテヤ人への手紙で言っていることです。もしあなたがこれを続けるなら、...噂話を続け、批判したり、反論したり、喧嘩したり、口論し続けるなら、あなた方は滅ぼし合い、むさぼり合うことになる。そしてそれはまさにサタンの思う壺ではないでしょうか？ 私は一人の牧師として、教会の牧師の方々に話したいと思います。牧師同士で。まず、あなたを励ましたいです。私は、私が本当に愛されている牧師だと はっきり認識しています。私には素晴らしい教会がありますが、多くの牧師はそう言えないことを知っています。しかし、それを経験したことのある牧師としてあなたにお伝えしたいです。私は、それがどれほど辛いことか知っています。とても痛々しい事です。主の強さと力にあって堅く立つようと 励ましたいと思います。そのような人たちの言うことに 耳を傾けないでください。実際に、私はさらに一歩踏み込んで、

あなたの周りにいる指導者的立場の人々で、あなたを支え、あなたに同意して共に歩んでいる人々を集めることをお勧めします。共に集まって、何よりもまず祈り、神に知恵を求めます。あなたが神に知恵を求める度に、神はあなたに知恵を与えてくださいます。神は知恵を惜しまれません。神はそれを惜しみなく与えてくださいます。そして、神に知恵と識別力を求めるのです。あらゆる事が世界で起こっている今日この頃、私がとても適切なことだと思うのは、あなたの教会でこれらの問題を起こし、これらの批判をしている人々と率直な会話をすることです。基本的には、ここで使徒パウロが言っている事を 実行する必要があります。そして、彼らにこう言う必要があるかも知れません。「他の教会を見つけた方がいいかも」と。そして、いざとなったら、… ちなみに、それは愛です。「あなたは、ここでは歓迎されない。」神が憎むことが一つあるとしたら、それは、兄弟の間に不和の種を蒔くことです。実際それは、箴言に書かれており、神が忌み嫌うことの7番目にあります。

**「主の憎むものが六つある。いや、主ご自身が忌み嫌う者が七つある。」 (箴言 6:16)**

何故か、知っていますか？ 聖書に関しては、時には、なぜかと問うのは良いことです。ですから私たちは、神の言葉の「何か」を知っていますが、「何か」の背後にある、「なぜか」は何でしょうか？なぜそれは、神にとって忌み嫌うものであるのか？ 兄弟の間に不和の種が蒔くことが。なぜ神は、そこまで深刻に受け止めるのか？ なぜ使徒パウロは、この若い牧師に宛てた この手紙のこの部分をまさにこの問題に充てているのか？ 私は、それは神が直接体験して知っているからだと思います。破滅を招くことになる。なぜなら、これが最初に起きたのは、天だったからです。ルシファーが高ぶり、プライドで自分自身を高く上げたとき。ところで… もしあなたに、批判的な霊があるなら、それはプライドです。あなたは誰かを不当に非難している？ それはプライドであり、霊的なプライドです。あのですね、これは、本当に 神の恵みによるものですが、私は2016年10月2日に、私たちがこの建物に入ってから、4年経ったことを考えていました。あ、時間が経つのは早いものです。

しかし、こんな感じです。この教会はあなたが安心して来れる場所です。皆さんに知っていただきたいのですが、私は牧師として、指導者として、長老として、この場所をあなたが来ることの出来る安全で、健全な場所として保つために、私たちは何でもやります。私たちは羊の衣を着た狼に 対処せねばならない事もありました。そして、彼らをこの教会から 除き去らねばなりません。なぜなら、彼らはこの神の群れにとって、脅威と危険と害となっていたからです。私たちは、この神の教会に入り込む者は誰でも 非常に迅速に、非常に断固とした 対応をしています。何しろ、あれだけのことを経験したのですから、そうはいきません。それが、私が”パレスチナ人”になる時です。…私の目が黒いうちはさせません。私には監督者としての 重大な特権が与えられています。この素晴らしい教会の牧師としての。ここは素晴らしい教会です。ここに新しく来られている皆さんにこの教会について 知っておいてほしい事があります。この教会は、愛に満ちた教会です。この教会は本物です。あなたは知っていますか…計算しなければいけないので、少し我慢してください。これは私の得意分野ではありません。だから、天国には数学がないことに 感謝していますが、でも、とにかく… 16年間… 私たちは15人ほどで、聖書の学びを始めました。その半分は妻の家族でした。とりあえず始めないといけないでしょう。そして、神は毎日、救われ、来る人達を 教会に加えて下さったのです。そして、教会は成長し始めました。この16年間、教会が分裂するような兆しすら、一度もありませんでした。一度も。まあ、それが起こり得たような時があったかもしれません。しかし、それは起こりませんでした。なぜか？ このためです。最後に一つ。たぶん最後ではありませんが、やってみます。

私が気にかけるのは一人だけです。そして、皆さんからのたくさんの優しい言葉に感謝しますが…「ああ牧師さん、あれはすごい祝福でした。主は本当に私に語ってくださり、私に教えてくださいました。」と。それについて、私は主を讃えます。皆さんの多く、特に初めての方が、ただ感謝して下さっているのも知っています。重ねて、私たちは皆さんを歓迎します。私たちはあなたを愛しています。皆さんが来てくださり、本当に嬉しいです私たちは皆さんを歓迎し、馴染んでもらいたいです。ここは安全です。ここは健全な教会であり、私たちは 御言葉を宣べ伝えています。御言葉だけを。書ごとに、

章ごとに、節ごとに。そして、私たちは常に 福音を宣べ伝えます。毎週日曜日には、この説教壇の後ろから 福音が伝えられています。なので、あなたは安全な場所にいます。ここは良い教会です。自分で言うのもなんですが…。でも…いや…ごめんなさい主よ。そんなつもりで言ったわけじゃないんですが…しかし、私が言いたいのは、最終的には、私はあなたに答えるのではありません。私を批判しても構いません。構いません。オンラインでコメントを投稿しても構いません。いいですよ。でも知ってほしいことがあります。私は気にしません。私は構いません。なぜなら、最終的に私が気にするのは、ただ、主が喜んでおられるか どうか、だけだからです。私は、人の奏でるドラムの音に 合わせて踊りません。批判的な霊がある人なら、特に。私には潰瘍は必要ないからです。それが理由です。私はそういう事にしておきます。ここで終わりにするのが良いかもしれませんね。そういうことで。お立ちください。祈りましょう。主よ、本当にありがとうございます。ああ、主よ、この教会に本当に感謝します。なんて素晴らしい教会なんでしょう。主よ、この物件を与えてくださって ありがとうございます。この素晴らしい、美しい建物と土地を。本当に息を呑むほどです。

この建物は…？ 主よ、あなたは何と美しい建物を 与えて下さったことか。あなたがすべての栄光をお受けください。正直、これを私たちの手柄にしようとするなら、笑われるでしょう。あなた一人がすべての栄光を得るように、あなたはそのようになさいました。そうあるべきであるように。しかし主よ、これは建物が 問題なのではありません。建物は教会ではありません。私たち、あなたの民が教会です。私たちはあなたの体です。私たちは同じ体の異なる部分です。あなたの体、イエスの体です。主よ、この教会のために祈ります。いかなる危害や危険の脅威からも、あなたがこの教会を守ってくださいますように。主よ、ここを自分の教会と呼び、私を自分の牧師と呼んでいる人々の 一人一人を祝福してください。それは私にとって、何という特権でしょうか。しかし、主よ、最終的に 私たちが望んでいるのは、この教会があなたを祝福し、あなたを喜ばせることです。私たちはあなたの目に、喜ばれる者でありたいのです。主よ、あなたを祝福します。感謝します、主よ。イエスの御名によって。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7